

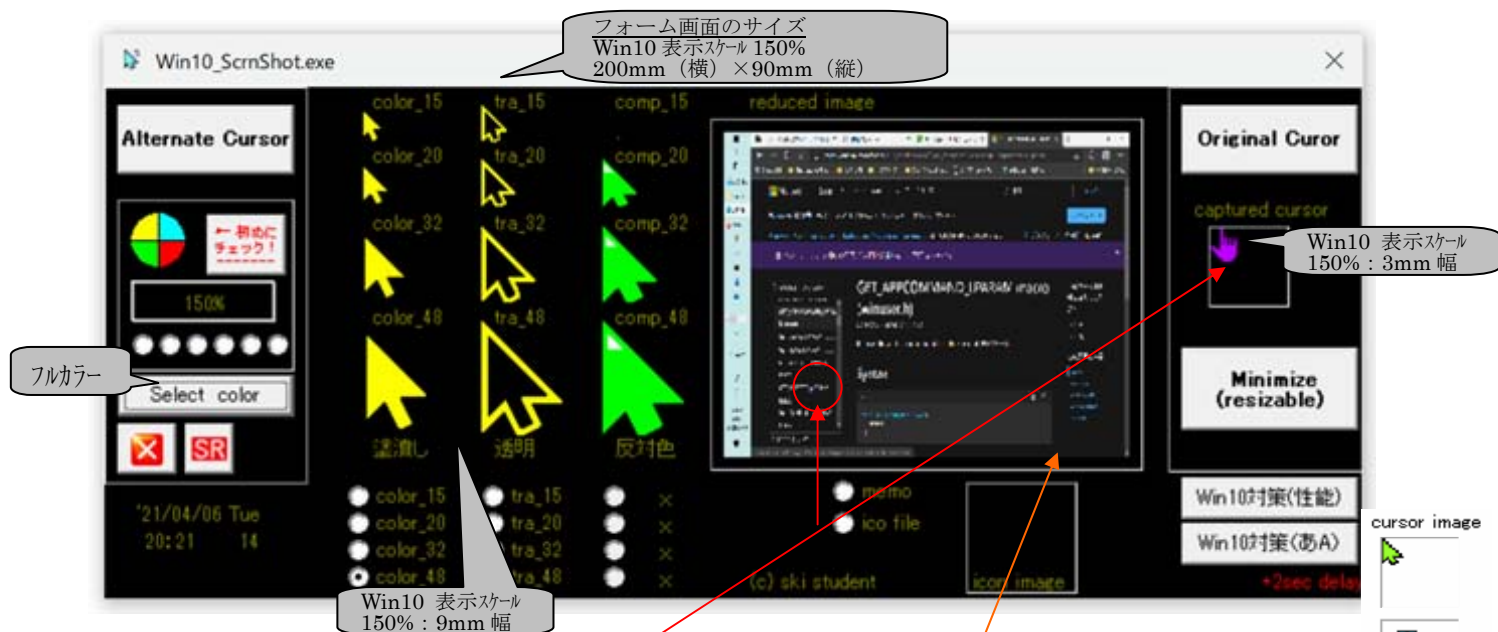
README

ベクターから zip ファイルをダウンロードしたら

| | | |
|---|------------|--|
| 1 | 解凍と展開 | ダウンロードした zip ファイルは「新しいフォルダ(実行フォルダ)」に保存、展開し、exe ファイルをダブルクリックすると下記実行画面が開きます |
| 2 | ライセンスキーの認証 | ご購入時に、(株)ベクターから送付されたライセンスキーを入力し(画面左下の)SRボタンを押し認証して下さい |
| 3 | 動作環境 | Windows2000 WindowsXp ~ Windows10(64b) |
| 4 | 著作権 | 当アプリの著作権は開発者の当方にありますので第三者に提供したり、ウェブサイトを通じてダウンロードさせたりすることは出来ません |
| 5 | 免責事項 | 当アプリ使用の結果生じた如何なる損害について、当方は一切責任を負いません |
| 6 | アプリの削除 | 実行フォルダ毎削除して下さい(アンインストール不要) |
| 7 | 問合せ先 | 不具合やご意見への対応は確約致しかねますが、努力はいたしますのでメールにてご連絡下さい(作品番号SR467501) お問い合わせ |

この度はダウンロードありがとうございます。

このソフト "Win10_ScrnShot.exe" は Windows PC 向けのデスクトップアプリです。PrtScr キーに代わり、Alt キーを押すと、マウスカーソル付きのキャプチャー画面が得られます。キャプチャー画面は無圧縮ファイルとクリップボードに保存される、ありふれたアプリですが、実カーソルに加え、その置換えイメージを各サイズ、フルカラー対応で取り揃えましたので使い勝手はまずまず？お使いいただけたら幸いです。



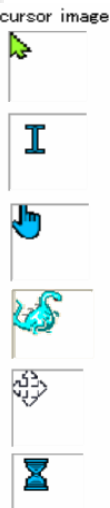
・機能概要

① マウスカーソル

実際に取得したカーソル (含、アニメーションカーソル) の例を右に示します。取得したカーソル形状を小窓に表示。キャプチャー画面の縮小イメージも表示。

注 1) 全てのカーソルについての取得確認はしておりません。また機種に依存しますが、黒枠中白のカーソルは黒枠部分が透明化され、白地の背景でポイントするとカーソルが見えなくなる場合があります。

注 2) キャプチャーされたカーソルは、実際のカーソルサイズではなく、標準サイズでの描画です (Win10 の場合: サイズ 1) 補記: カーソルサイズのスケール変更までは容易でしたが表示ポイントのずれ等への対応にギブアップ、残念ですが実サイズでのキャプチャーには至っておりません・・・



② 代替カーソル

そこで実カーソル (**original cursor**) の見栄え改善のため、一目でカーソルと分かるものを作り、実カーソルの置換え用としたものが代替カーソル (**alternate cursor**) です。代替カーソルを指定するとキャプチャー画面には選択されたカーソルが表示されます。種類はご覧のとおり。

注) 反対色のカーソル

カーソルが乗った地点の色の補色(白黒系は反対色)をpixel毎にリアルタイムで反映するカーソルですが (Win10 カーソルの再現)、画像サイズが一番小さな 15pixel カーソルを Win10 で試すと動きが鈍すぎて使えない。古い Xp パソコンではスムーズに動くのに Win10 で使えないため、反対色カーソルは全サイズ使用不可に設定しています・・・Win10 対策(性能)ボタン押下で comp_15 の色変化のみご覧になれます。

③ キャプチャ用に割り当てたキー

PrtScr キーは本来の機能があるため、PrtScr キーには一切触れず、カーソル付きのキャプチャー機能は Alt キーが代行します。当アプリと PrtScr キーの関係は、例えば、アクティブ画面のカーソル付きキャプチャーでは (当アプリは起動しない)、PrtScr+Alt で得られた画面をどこかに貼付け、その画面上で当アプリでカーソルをキャプチャーする相補的な関係にあります。

※Win10 タスクマネージャのキャプチャーは、PrtScrでのみ可能なケースがあります ☞ 下記⑥



・・・処理時間 5 秒以内目標 icon

④ 実行時間

当アプリでは、カーソル付きキャプチャーは Alt キーを使用します。Alt 押下後、概ね 5 秒以下でキャプチャーを終了します。但し、Alt 押下時に「あ」や「A」が表示される機種(OSバージョン)の場合はそれらが写りこまない様、キャプチャーの実行を遅らせるので 7 秒ほどかかります (☞ 使い方②注意※1)。ご使用の機種で「あ」や「A」を非表示にする”IME入力モード”設定が可能であれば 5 秒程度に短縮できます。

⑤ 時計 フォーム画面の左下に日付と時刻の表示 ☞ 秒の表示がちらつく場合は (Win10)、秒をクリックすると×マークに変わります。再クリックすると秒表示に戻ります。

⑥ その他

●当アプリでキャプチャー出来ないケース

- ・Win10 のタスクマネージャがトップ画面 (当フォーム画面が一番手前で、次にタスクマネージャ) がアクティブのとき ☞ Altキー押下で「無効なクリップボードフォーマット」と、エラー表示され、当アプリはバックグラウンドプロセスに移される。
- ・しかし、タスクマネージャがトップでなければ (カーソルがタスクマネージャ上に置かれた状態でも)、他画面と一緒にキャプチャーできる。一方 PrtScr キーの場合はタスクマネージャがトップに表示されていてもキャプチャー可能 ☞ 機能概要の③と重複
- ・アクティブ画面のみのキャプチャー ☞ 同上

●当アプリが影響するケース

- ・当アプリが起動されているときにAltキーを使うアプリケーション

●Alt キー

このキーは「固定モード」に設定にされていることがあります。キャプチャーが連続動作する場合は Alt キーの設定モードを調べて下さい（固定モードとはキーを押さなければなしの状態にするモードです）。

●多重起動抑止

当アプリはクリップボードを使用します。Win10 のクリップボードアクセスは様々な要因でエラーが発生しやすく、当アプリで特に問題となるのはエラーメッセージ表示後に実行中のアプリが無条件に「バックグラウンドプロセス」注) に移され、アクティブなまま残り続けることです。その為、多重起動抑止機能を設けるとアプリが立ち上がらなくなるので当アプリにその機能はありません。複数のフォーム画面が立ち上がってしまったときはそれらを閉じて下さい。

注) バックグラウンドプロセスの説明は省きますがバックグラウンドプロセスに移されるメカニズム（推測）は次の通り。クリップボードのアクセス時に Win10 がエラーを検出 ⇒ 当アプリが検出したエラーではないので当アプリは終了しない（＝プロセスが終わらない、強制終了もされない）⇒ 結果的に当アプリはバックグラウンドプロセスに移される（状態はアクティブのまま）⇒ このプロセスは人手で終了させられたか、PC 電源オフ、再起動、サインインするまでバックグラウンドプロセス群に留まり続ける・・・このプロセスの存在で困るのは実行ファイルの上書きが出来なくなることくらいですが残り続けても特に問題は無いので基本無視で構いません。バージョンアップ等で上書き出来ない場合はタスクマネージャ（Ctrl+Alt+Del）で終了させて下さい。

※「クリップボード関連エラー」を抑えるべく、エラー発生率を、キャプチャー100 回にエラー1 回程度に調整しましたが機種依存性があるかもしれません・・・⇒ WindowsOS バージョン 1909 でテスト：キャプチャーをループ実行し、発生したエラー回数をカウント

●パラメータの保存

アプリの終了直前の、画面表示スケール値、代替カーソルの種類、色、サイズ等が記録され、次回起動時に反映されます（但し icon 選択ボタンと選択されたファイルは保存されません）。

●SR ボタン

レジ作品番号を表示します。レジ作品番号はライセンスキーの発行等に必要の番号です。

ご購入時は、㈱ベクターから送付されるライセンスキーを入力し、本ボタンで認証して下さい。認証が成功すると全機能お使い頂けます。認証が失敗すると機能が限定されるサンプル版です。

※ 一度認証（照合）に成功すると、以降は認証なしにお使いできるようになります。

但し"システムの復旧"等で認証データがリセットされることがあり、その際は再認証して下さい。ライセンスキーは廃棄しないで下さい（要保管）。

・使い方

① 初期設定

赤い文字の**初めにチェック**ボタンを押して下さい。マウスカーソルがポイントする座標値の初期化を行います。左隣の4色の円をポイントし、各色が直ぐ下の長方形に反映される様、横一列の6個のラジオボタンを順にクリックして下さい。ポイントした色と共に100~250%何れかの数値が表示されたら終了です。表示スケールが変更されるまでこの数値は記憶されますので、以後これらのボタンに触れる必要はありません。

② オリジナルカーソル付きキャプチャーの実行

初期画面は「オリジナルカーソル」を取得&表示するモードで立ち上がります。**Original Cursor**ボタン上のELランプが点滅する状態で**Alt キー**を押すと直ぐにフォーム画面が消え、約5秒後に再びフォーム画面が表示され、キャプチャー終了となります。フォーム画面には取得したカーソル形状と縮小されたキャプチャー画像が表示され、実行フォルダには非圧縮の画像ファイルが作られます(以下の2種類:カーソル付きとカーソル無し)。

ファイル名: captured_screen_with_original_cursor.bmp (オリジナルカーソル付きファイル)
captured_screen.bmp (カーソル付きキャプチャー時のカーソルなしファイル)

クリップボード: カーソル付きキャプチャー画像が残るのでペイントソフトに直接貼付できます。(ペイントを開き、貼り付けボタンをクリック)

注意

- ※-1 「あ」や「A」が写りこんでいましたらフォームの右下の「Win10 対策 (あ A)」ボタンをクリックして下さい。表示されたダイアログで「いいえ」をクリックすると、「あ」や「A」が消えるまでキャプチャーのスタートを遅らせ、写り込まない様になります (🔍 前項④参照)
- ※-2 Alt キーを押すと、直ぐフォーム画面は消えキャプチャー処理に入りますが、フォーム画面が消えない場合は、消えるまで Alt キーを何度か打ち込んで下さい。また Alt 押下後にマウスを移動すると移動中や移動後の座標でキャプチャーされますのでご注意下さい。
- ※-3 その他
 - ・ Win10 では、「ファイルタイムスタンプは中身が更新されても日時が更新されない」や「上書きされない」と云う類の相談がネットに多数寄せられています。該当するフォルダやファイルをウイルススキャン対象から除外する設定で回避する方法がありますが当方のテストではその都度行なう必要がありました
 - ・ フォーム画面が邪魔なときは Minimize ボタンをクリックして下さい (タスクバーに退避されても Alt 押下でキャプチャー可能ですが、Win10 では出来ないことがありました。その際はタスクバーからのキャプチャー実行 (Alt 押下)は避けて下さい)

③ 代替カーソルキャプチャーの実行

Altenate Cursor ボタンを押す前に、カーソルの種類と色を選択して下さい (ラジオボタンは全10個、一つも選択されていない場合は必ず何れか一つを指定する)。**Altenate Cursor** ボタンを押すとELランプの点滅がこちらのボタンに移ります。**Alt キー**を押すとキャプチャー開始。終了すると、上記②と同様、フォーム画面には縮小されたキャプチャー画像が表示され、実行フォルダには非圧縮の画像ファイルが作られます (以下の2種類:カーソル付きとカーソル無し)。

ファイル名: captured_screen_with_altenate_cursor.bmp (代替カーソル付きファイル)
captured_screen.bmp (カーソル付きキャプチャー時のカーソルなしファイル)

クリップボード: カーソル付きキャプチャー画像が残るのでペイントソフトに直接貼付できます。(ペイントを開き、貼り付けボタンをクリック)

※注意事項

上記②と同じ

(代替カーソル) 補足

- ・矢印カーソルは色塗り潰しタイプ、枠だけ色付きで中は透明タイプ、矢印内ドットがリアルタイムで反対色になるタイプと計3種類×4サイズ*ありますが、反対色になるタイプはWin10で反応スピードが著しく遅くなるので使用停止に設定

* 表示ラベル color(tra)_xx の xx が横幅のドット数 (15,20,32,48)

- ・その他のカーソル (2個)




ico file : ファイル選択



選択されたアイコン画像を表示

サンプル版で動作可能なカーソルは、「みみずく(ラジオボタンのmemo)」のみ

④ 当アプリがフリーズし、終了ボタンが効かなくなったとき

タスクマネージャを開き(Ctrl+Alt+Del)、当アプリのアイコン  を見つけ、終了させて下さい。
他のアプリも同様と思いますが、タスクマネージャで終了しない場合はPCの電源オフ(再起動)で。当方のテスト環境でフリーズは皆無でしたが、デバッグ中 exe ファイルを削除できないことが一度ありました(再起動後に削除できましたが原因不明のまま)。

以上